

抗インフルエンザ薬フォーミュラリ

	種類	成分	薬品名	備考
第1推奨薬	内服	オセルタミビル	オセルタミビルカプセル オセルタミビルDS タミフルカプセル タミフルドライシロップ	
第2推奨薬	吸入	ザナミビル	リレンザ	
(条件付)	注射	ペラミビル	ラピアクタ点滴静注液バイアル	※内服及び吸入が不可能で、静脈内投与が必要と判断される患者
その他の推奨薬	内服	バロキサビル	ゾフルーザ錠	
	吸入	ラニナミビル	イナビル吸入粉末剤	

第一推奨薬：(内服) オセルタミビル

エビデンスが集積していること、日本小児科学会提言等でも広く推奨されていること、後発医薬品が販売されていること、異常行動に関する警告が削除されたことなどを踏まえ、オセルタミビルを第一推奨薬とした。

第二推奨薬：(吸入) ザナミビル

耐性がほとんど報告されておらず、オセルタミビルと異なる投与経路(吸入)であり、諸外国でも承認されていることなどを踏まえ、ザナミビルを第二推奨薬とした。

条件付き使用推奨薬：(注射) ペラミビル

内服や吸入が不可能な患者に使用できること等を考慮し、ペラミビルを条件付き使用推奨薬とした。条件は「内服及び吸入が不可能で、静脈内投与が必要と判断される患者」とした。

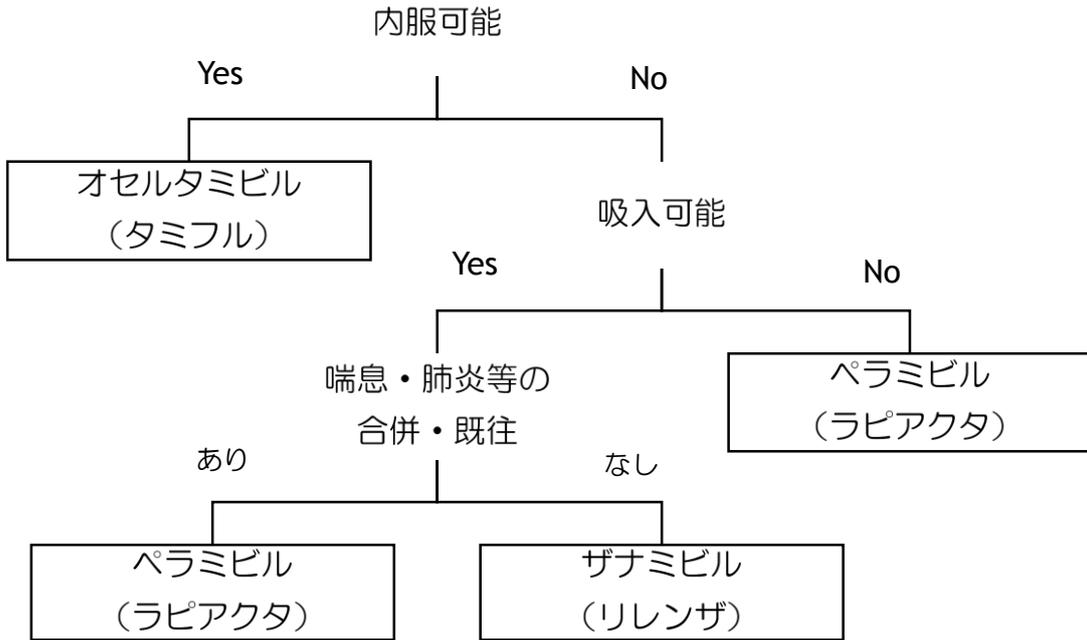
その他の推奨薬：(内服) バロキサビル・(吸入粉末・吸入懸濁) ラニナミビル

バロキサビルは、日本感染症学会の提言で、12歳以上の外来患者に対してはオセルタミビルと同等の推奨度とされている。一方で、現時点では、重症患者、免疫不全患者及び12歳未満の小児ではデータが不十分であり慎重な投与判断が必要となる。また、単回投与であるため利便性に優れるも、後発医薬品が発売されていない。以上の点から、有効性・安全性は蓄積されつつあるが、それを上回る経済性が見込めないと判断し、他剤で代替可能であるためその他の推奨薬とした。

ラニナミビルは海外第Ⅱ相試験でプラセボ群と比較して有意な有効性が得られなかったこと、本邦以外では承認されていないこと、後発医薬品が発売されていないことなどを踏まえ、その他の推奨薬とした。

(FINDAT より)

● 成人（妊婦・授乳婦含む）フォーミュラリフローチャート



● 小児フォーミュラリフローチャート

